

第2次宇陀市総合計画 後期基本計画の策定について

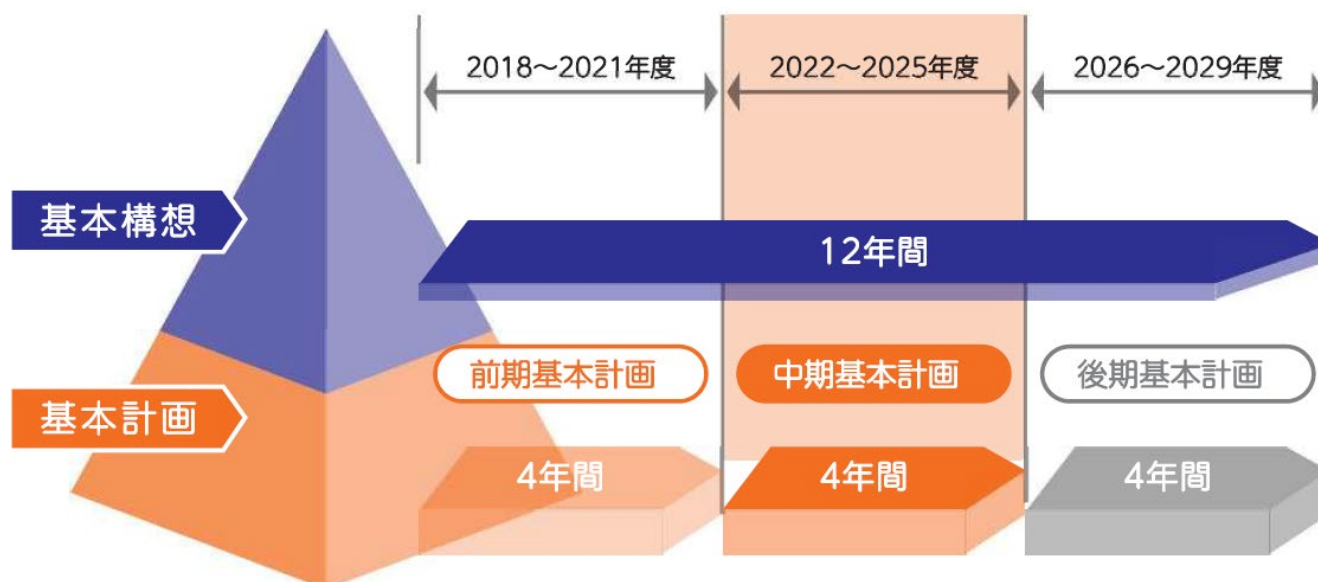
令和7年2月19日(水)

宇陀市 政策推進部 企画課

1. 第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定の背景

(1) 中期基本計画の計画期間の終了

- 中期基本計画の計画期間が2025年度(令和7年度)をもって終了することを受け、2026～2029年度を計画期間とする後期基本計画の策定が必要



▲第2次宇陀市総合計画の計画期間

1. 第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定の背景

(2) 宇陀市を取り巻く情勢の変化ー全国的な情勢ー

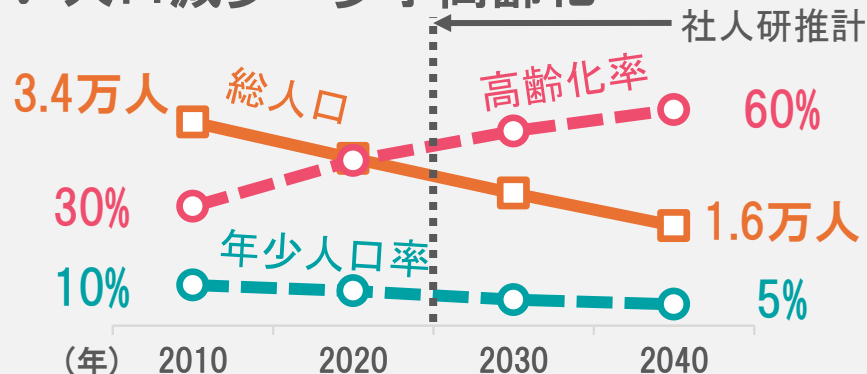
- ✓ ポストコロナ社会が到来する中で働き方改革やテレワーク・ワーケーション、2地域居住など仕事や生活への意識の変化の定着が進展
- ✓ 国による地方創生2.0の取り組みが2024年からスタートし、地域の主体的に行動の必要性が上昇
- ✓ インフラ・サービスの持続的な提供、関係人口の増加などにおけるデジタルの活用が求められ、デジタル田園都市の取り組みが進展
- ✓ 地震や豪雨災害が全国的に起こり災害対応の必要性が上昇
- ✓ 2030年を目標年次とするSDGsへの継続的な取り組みが必要
- ✓ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが国内外で進展

…など

1. 第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定の背景

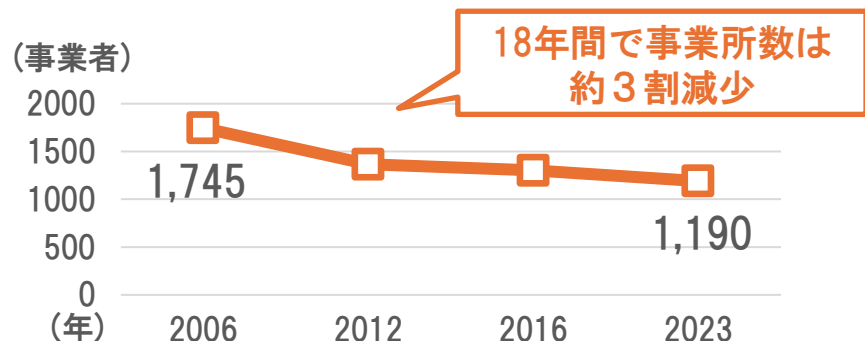
(2) 宇陀市を取り巻く情勢の変化—宇陀市の情勢—

✓人口減少・少子高齢化



出典：国勢調査、社人研推計

✓経済活動の縮小 ▼市内の事業者数の推移

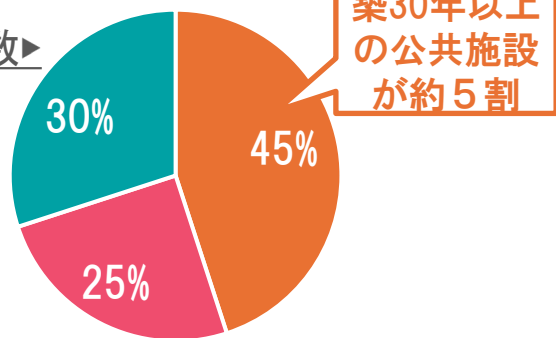


出典：事業所・企業統計調査、経済センサス

✓インフラ老朽化

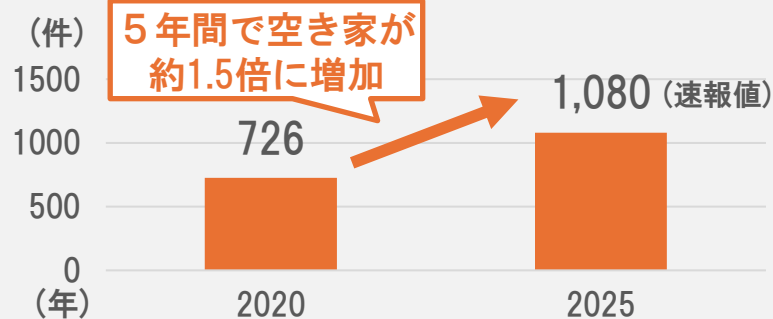
公共施設の築年数▶

- 築30年以上
- 築20年以上
- 築20年未満



出典：宇陀市公共施設等総合管理計画

✓空き家の拡大 ▼市内の空き家件数



出典：宇陀市空き家等対策計画

▶▶ このままでは「まち」として持続できるのか…

1. 第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定の背景

(3) 中期基本計画策定後に実施された施策の進展

- 中期基本計画策定後に実施された施策を、まちづくりの中に体系的に位置づける必要性
 - ✓オーガニックビレッジ宣言（2022年11月）
 - ✓宇陀市公民連携まちづくりプラットフォーム設立（2022年11月）
 - ✓エストニアとの連携
（サーレマー市との連携：2023年7月
企業・大学との連携：2024年1月）
 - ✓地域商社機能運營業務の開始（2024年4月）
 - ✓給食の無償化（2024年9月～）
 - ✓保健福祉施設の統合（2025年4月予定）
 - ✓榛原こども園・こども家庭センターの整備（2026年4月予定）
 - ✓小・中学校の適正化の推進
 - ✓ごみ処理広域化推進

…など

1. 第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定の背景

(1) 中期基本計画の計画期間の終了

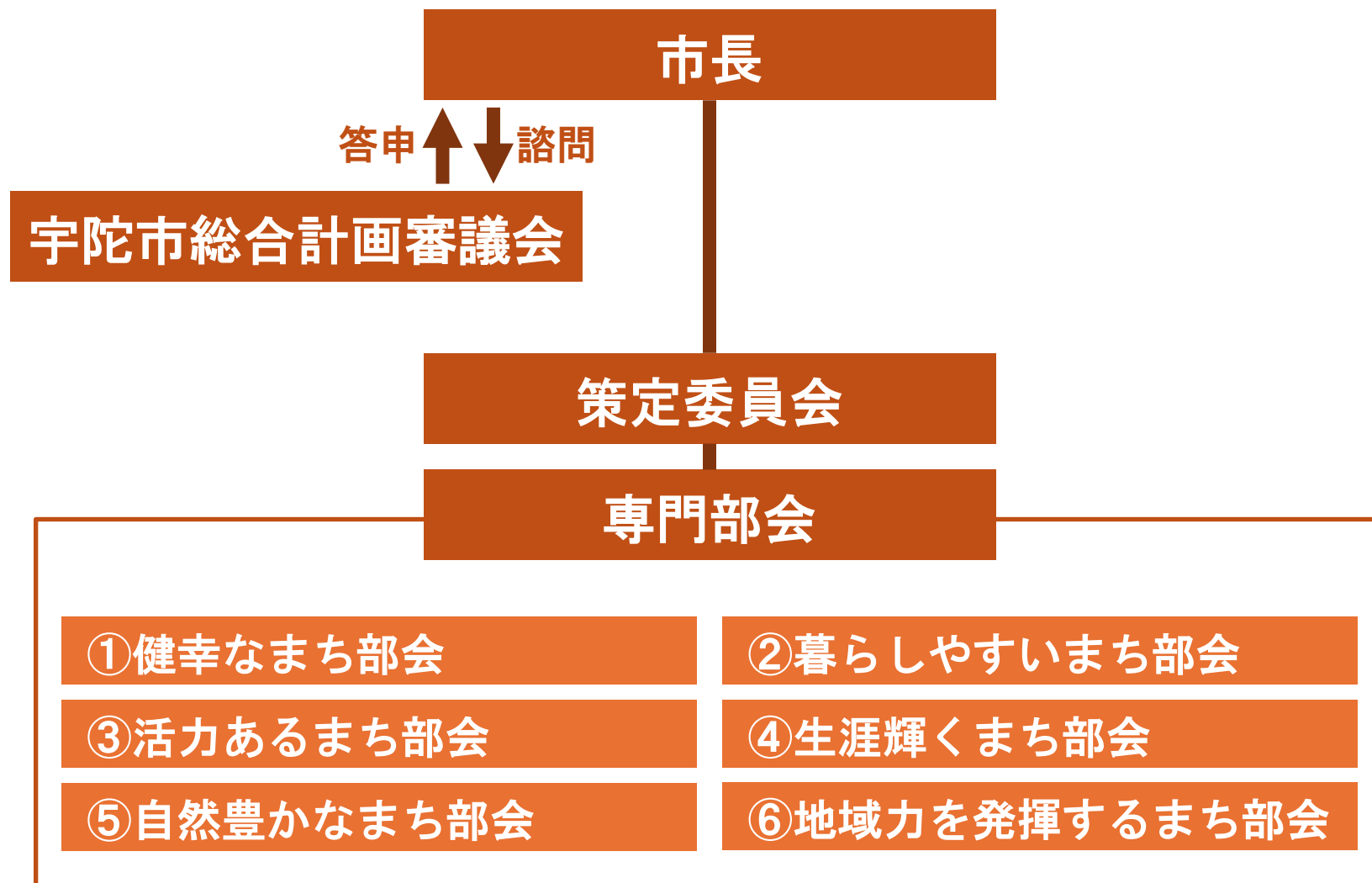
(2) 宇陀市を取り巻く情勢の変化

(3) 中期基本計画策定後に実施された施策の進展



新たなまちづくりの方向性を示す**後期基本計画**を策定

2. 策定体制



3. 後期基本計画策定にあたっての考え方

(1) これまでの取組みと新たな取組みの考慮

- ・ 中期基本計画において実施してきた各施策についての満足度・重要度等の評価の実施
- ・ 新たな取組みの成長戦略への反映

基本構想(12年間継続)

後期基本計画の策定範囲



3. 後期基本計画策定にあたっての考え方

(1) これまでの取組みと新たな取組みの考慮

いきいきと働く場所がある安心

- 公民連携プラットフォーム
設立による企業・団体との連携
- オーガニックビレッジ宣言による
宇陀ブランドの発信

など

にぎわいのある安心

- 地域コミュニティ再生に向けた
行催事・地域交流活動の支援
 - 空き家利活用プロジェクトの拡大
- など

しごと

観光戦略の推進

- 自然や歴史・文化資源を活かした
周遊・滞在型観光の推進
- スポーツを通じた関係人口の創出

グリーン社会の実現

- 再生エネルギー導入の推進
- 省エネルギー化の推進
- 森林環境の保全

道路環境の整備

- 重要物流道路としての
国道165号の整備促進
- 通学路の安全確保の推進

商工業の再生・活性化

- 大和高原の玄関口としての駅前整備
- 保全と活用による土地利用の推進
- 企業誘致の推進
- 空き家・空き店舗の活用

デジタル化の推進

- 生産性の向上
- 作業効率の改善
- 省人化の実現

地域資源を活かした 農林畜産業の再生・活性化

- 大和高原宇陀ブランドの発信
- 農林畜産資源を活かした人材育成
- スマート農業など
農業生産基盤の整備推進
- ジビエ利活用施設の整備推進

高原都市
宇陀ではたらく

～産業・観光の振興～

3. 後期基本計画策定にあたっての考え方

(1) これまでの取組みと新たな取組みの考慮

こどものまんなか安心の子育て

- 幼稚園～中学校の給食費無償化
- 榛原こども園・こども家庭センターの整備推進
- エストニアとの連携やアントレプレナーシップ教育の推進

など



3. 後期基本計画策定にあたっての考え方

(1) これまでの取組みと新たな取組みの考慮

行財政の健全化で安心の暮らし

- 奈良県内の水道事業統合
- 公有施設の利活用や統合
(アセットマネジメント)の推進 など

激甚災害から命を守る安心の備え

- 住宅の耐震化の推進
- 大規模災害への強靱化
・災害弱者への対応 など

元気人口を増やし、 ともに生きる安心

- 地域公共交通サービスの充実
- 宇陀市立病院のへき地医療拠点病院
認定等による地域医療の充実 など

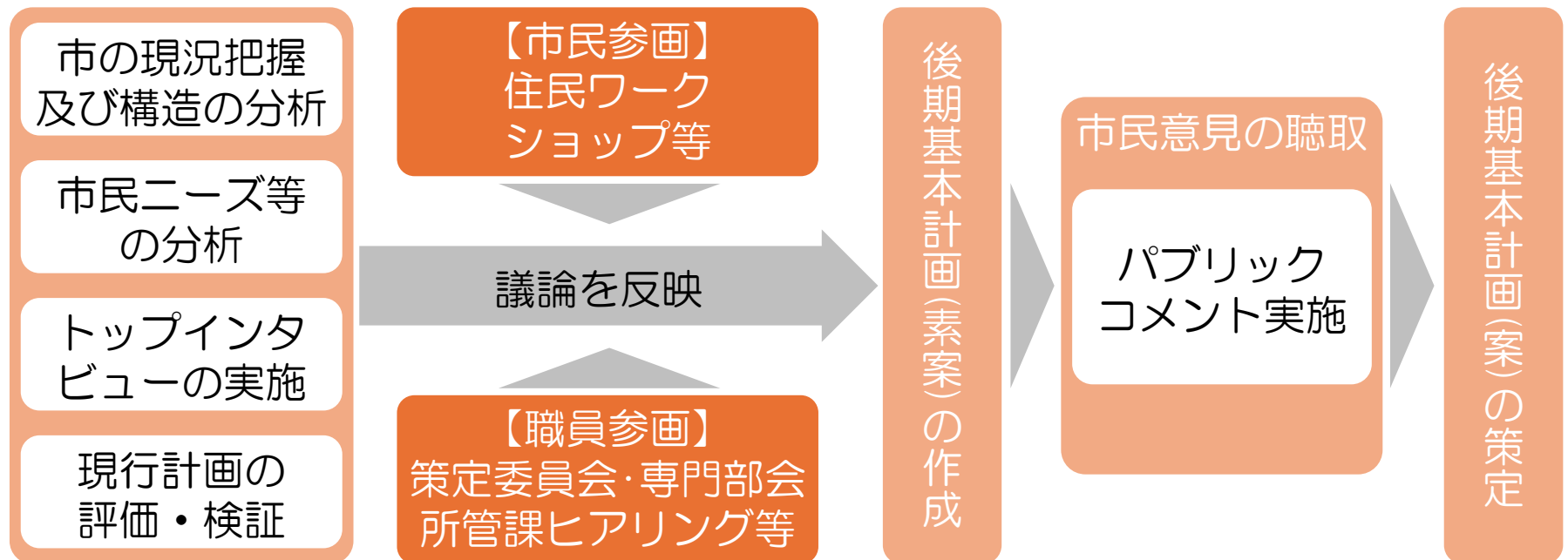
まち



3. 後期基本計画策定にあたっての考え方

(2) 市民の参画と協働による計画づくり

- 市民、行政職員それぞれが参画する策定プロセス
 - ✓市民が参画する住民ワークショップの開催
 - ✓職員が参画する策定委員会・専門部会の開催
 - ✓所管課ヒアリングや職員向けアンケートの実施



▲市民・職員の参画による計画づくりの全体像のイメージ